

実用新案登録願(II)

昭和56年7月28日

特許庁長官殿

考案の名称

ブザイトリックコウソウ
ふた部材取付構造

考案者

住所(居所)

氏名

カワサキシナカハラクオオクラチウ
神奈川県川崎市中原区大倉町10番地
三菱自動車工業株式会社東京自動車製作所川崎工場内
ミズ ノ ヤス ヒサ
水 野 泰 寿

実用新案登録出願人

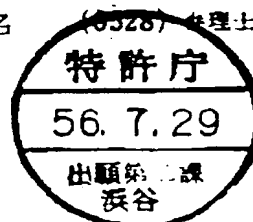
住所 東京都港区芝五丁目33番8号
名称 (628) 三菱自動車工業株式会社
代表者 東 条 輝 雄

代理人

住所 東京都港区芝五丁目33番8号
三菱自動車工業株式会社内(電 455-1011)
氏名 (6328) 弁護士 廣 渡 禧 (特許代理人)

添付書類の目録

- (1) 明細書 1通
- (2) 図面 1通
- (3) 委任状 1通
- (4) 願書副本 1通



方 式 査 審



487

実開58-17354

56 111751

前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

考 案 者

住 所

氏 名

代 理 人

住 所

東京都港区芝五丁目3番8号

三菱自動車工業株式会社内(電455-1011)

氏 名

(6627) 弁理士 日 吉 吉



実開58-17354



488

明 細 書

1. 考案の名称

ふた部材取付構造

2. 実用新案登録請求の範囲

底面壁と側面壁を有すると共に同側面壁の上端縁部に同側面壁に略直角で外方に延びる第1フランジが形成されたケーシングと、上記第1フランジに当接する第2フランジが周縁部に形成され上記ケーシングの上面を覆うふた部材と、上記ケーシングの側面壁に固着され他端が上記ふた部材の第2フランジに係止するクランプと、上記第1フランジの面と第2フランジの面のうち一方の面にピンを形成し他方の面に同ピンに嵌合する孔が穿設されたことを特徴とするふた部材取付構造

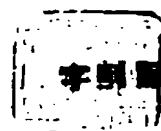
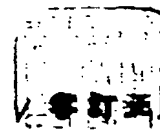
3. 考案の詳細な説明

本考案は、ふた部材の取付構造の改良に関する。
以下、本考案の一実施例について第1図及び第2図に基づいて詳細に説明する。

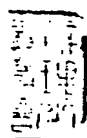
図に示す実施例は、バッテリー2をトラックのシ

ヤシフレーム 4 に取付けるケーシング 6 に設けられたふた部材 8 の取付構造である。ケーシング 6 は、底面壁 10 と側面壁 12 とシャシフレーム 4 への取付フランジ 14 とから形成され、更に側面壁 12 の上端縁部には、側面壁 12 に略直角で外方に延びる第 1 フランジ 16 が設けられている。また、第 1 フランジ 16 と当接する第 2 フランジ 18 が周縁部に設けられたふた部材 8 は、ケーシング 6 の底面壁 10 と側面壁 12 により構成される凹所の上部を覆うように取付けられている。

側面壁 12 に固着されたクランプ 20 は、略コ字型のブラケット 22 と、同ブラケット両側部に架設された軸 24 と、同軸 24 に軸支された鉤型のクランプ本体 26 と、同クランプ本体を第 2 フランジ 18 に係止する方向に付勢力が働くように、軸 24 の周囲に設けられたスプリング 28 とから形成されている。更に、上記クランプ 20 のクランプ本体 26 がふた部材 8 の第 2 フランジ 18 に、第 2 図に示すように係止されるべく、ブラケット



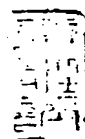
(2)



22がケーシング6の側面壁12に固着されている。また、第1フランジ16と第2フランジ18との当接面には、第1フランジ16側からピン30が突出すると共に、同ピン30に対向する第2フランジ18の位置には、ピン30が嵌合する孔32が穿設されている。

更に、クランプ20が取付けられているケーシングの側面壁と相対する側面壁の部分には、第2図に示すように、第1フランジ16と第2フランジ18とを同時に挟む板金より成るクリップ34がケーシング6の側面壁12に溶着されている。

上記構成によると、ふた部材8を取付ける場合には、クリップ34とケーシング6の第1フランジ16との隙間に、ふた部材8の第2フランジ18を挿入させ、クリップ本体26を第2図の矢印A方向にスプリング28の付勢力に抗して回動させた状態で、クリップ部34を中心としてふた部材8を回動させ、ケーシング6に取り付け、ふた部材のフランジ18とケーシング6のフランジ16と



を当接させると共に、ピン 30 をフランジ 16 に
穿設された孔 32 に嵌合させる。^その後、クラン
プ本体 26 のスプリング 28 の付勢力に抗して回
動させていた力を解除すれば、スプリング 28 の
付勢力によりクランプ本体 26 がフランジ 18 に
係止されることとなり、この状態でふた部材 8 は
ケーシング 6 に完全に固定される。また、ふた部
材 8 をケーシング 6 から取外す場合には、上述し
たものと逆の操作を行なうことにより容易に取外
することができるものである。

上述したように、従来^のボルトでふた部材が取付け
られていた^{構造}~~構造~~に比べて、本考案の^{構造}~~もの~~はふた部
材の取付及び取外しが極めて容易であるという効
果を奏するものである。

更に、ふた部材 8 がケーシング 6 に取付けられた
状態では、第 2 図における左右方向へのふた部材
の動きに対しては、ピン 30 及びクリップ 34 に
より規制され、また上方向へのふた部材の動きに
対しては、クランプ本体 26 及びクリップ 34 に

訂正

加入

訂正

より規制され完全にふた部材 8 がケーシング 6 に固定されるものである。このため、本実施例のように振動部分等に取り付けられた場合には、ふた部材がケーシングに対して振動し異音を発生したり、ふた部材が外れてしまう等の不具合を解消できるものである。

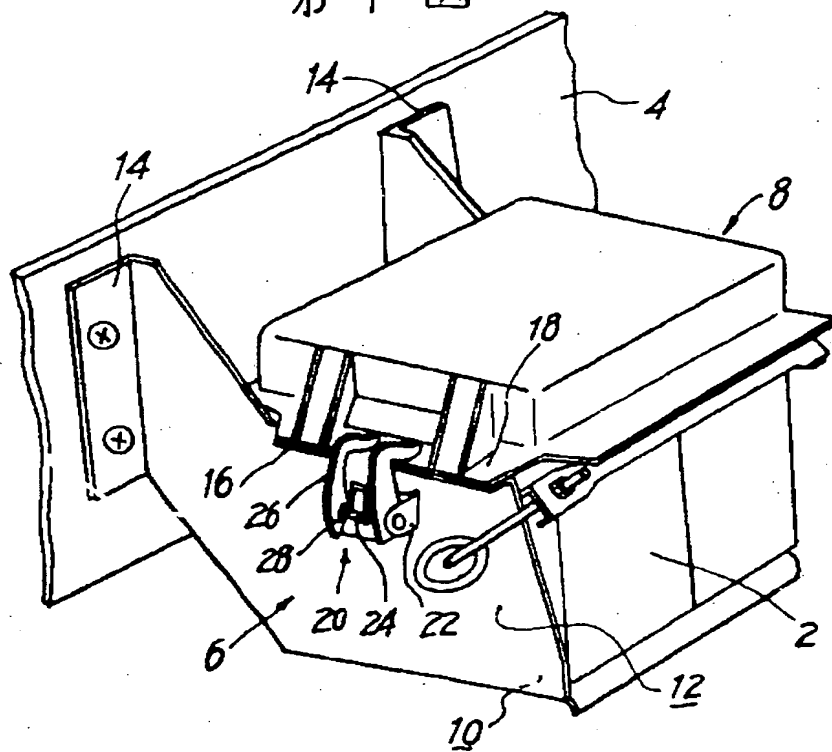
4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案の一実施例を示す斜視図、第 2 図は同実施例の要部断面図である。

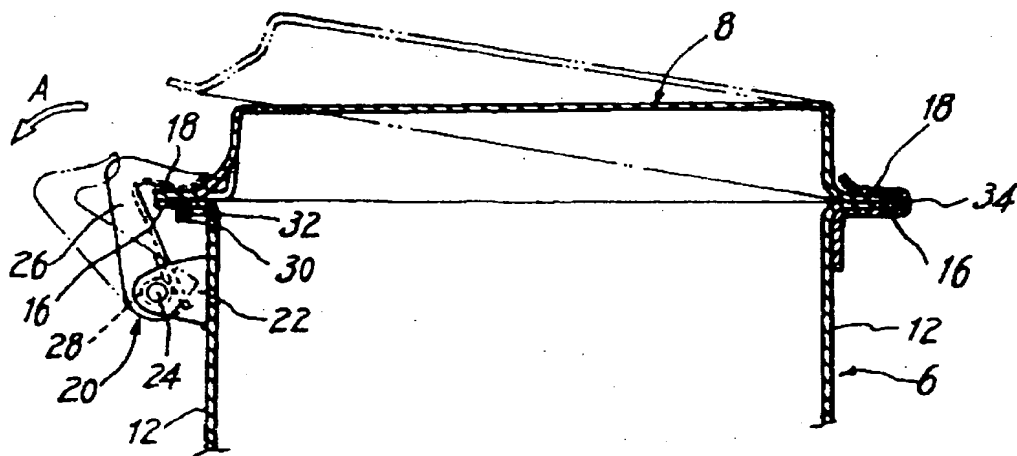
6 … ケーシング,	8 … ふた部材,
10 … 底面壁,	12 … 側面壁,
16 … 第 1 フランジ,	18 … 第 2 フランジ,
20 … クランプ,	30 … ピン,
32 … 孔	

代理人 広渡禧彰

第 1 图



第 2 图



494

专利 50-17354

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.